

## 資料6 環境関係表彰受賞者

### 1 令和4年度環境保全功労者等の表彰(環境大臣表彰 令和4年6月)

#### (1) 受賞者

＜地域環境保全功労者＞

山梨県立笛吹高等学校(笛吹市)

Yamanashiみずネット(甲府市)

＜地域環境美化功績者＞

南アルプス市立白根百田小学校(南アルプス市)

山梨県立甲府城西高等学校(甲府市)

#### (2) 功績概要

＜地域環境保全功労者＞

- ・山梨県立笛吹高等学校(笛吹市)

植物組織培養施設等を活用し南アルプスの絶滅危惧植物、特に絶滅危険性の大きいタカネマンテマ・タカネビランジ等について安定的な種子繁殖技術を開発した。

- ・Yamanashiみずネット(甲府市)

市民参加型の「身近な水環境の全国一斉調査」等を実施するとともに、身近な河川について考える機会を提供するなど、水質・水環境の保全の調査研究や普及啓発に大きく貢献している。

＜地域環境美化功績者＞

- ・南アルプス市立白根百田小学校(南アルプス市)

身近な環境整備や美化活動の実施、ふるさとの自然や環境についての学びを継続している。

- ・山梨県立甲府城西高等学校(甲府市)

平成22年より本校サッカー部が河川等の美化活動やイワナなどの放流活動を行う「未来の荒川をつくる会」活動に参加を始めた。コロナ禍の中止期間もあったが令和3年から全校から有志を募り、生徒会の活動に広がった。

### 2 令和4年度山梨県環境保全功績者表彰(知事表彰 令和4年6月)

#### (1) 受賞者 団体:上野原市立上野原小学校(上野原市)

団体:山梨市立山梨南中学校(山梨市)

団体:山梨県立白根高等学校 自然科学部(南アルプス市)

#### (2) 受賞理由 多年にわたり、地域の環境保全活動に尽力するとともに環境保全思想の普及・啓発に努め、地域の模範となっている。

### 3 令和4年度「ふれあいの森林づくり」(国土緑化推進機構理事長賞 令和4年9月)

#### (1) 受賞者

中央森林組合

#### (2) 功績概要

組合は山梨県と甲府市の協力の下、公益財団法人オイスカ及び株式会社オギノと協働で、山梨県が提唱する「企業の森推進事業」の県内企業第1号となる「オギノの森」(1.70ha)を設定し、地域と一体となった森づくり活動を開始した。

組合が中心となり、森林整備が遅滞している森林の所有者、市民の憩いの場としての里山の保全を図りたい甲府市及び、森林環境保全活動に関心が高い特定NPO法人 環境リレーシヨonz研究所のニーズがマッチングしたことから、四者による森林整備協定を結び、当該森林を「PresentTree for四季の森」と命名し10年間で4.45haの活動を行った。

また、組合、森林所有者、笛吹市及び研究所の四者による協定を結び、当該森林を「PresentTree for はなの森」と命名し10年間で4.03haの活動も行った。

その後も、甲斐市、笛吹市においてPresentTreeの協定を結び、現在までに8箇所、38.78haで活動している。また、協定による森林整備のほか、未整備森林において、組合が仲介となって企業や学校等と協働で森林整備を行っており、合計で18件、71.71haの森林整備を行っている。

### 4 令和4年度全国育樹活動コンクール(国土緑化推進機構理事長賞 令和4年9月)

#### (1) 受賞者

有限会社 天女山

#### (2) 功績概要

同社は、森林経営計画を策定し、地域の森林保護・育成及び林業の活性化、林業のICT化に取り組み、ドローンとソフトウェアを駆使した森林解析を行い、そのデータを基にした研究や作業を行っている。これにより省力化を図るだけでなく、客観的視点に基づいた環境負荷の少ない施業を目指すなど、地域の環境保全と林業の共生に力を入れている。

国際的な森林管理認証であるFSC (COC) 認証を取得し、山梨県県有林の木材をFSC認証材として流通させることに寄与するとともに、地元工務店や木工作家とサプライチェーンの構築を図り、木材の地産地消も推進している。

また、一般県民を対象とした林業体験や間伐体験活動への講師の派遣、林業技術の無料講習会の開催により林業を身近に感じてもらいながら、林業が健全な森林の維持に貢献していることを知ってもらうことを目的とした活動を行っている。

北杜市内の森林で東京都目黒区内の小学生を対象に林業活動体験(間伐体験)を行っている。

### 5 令和4年度全国学校関係緑化コンクール

(学校林等活動の部 国土緑化推進機構理事長賞 令和5年3月)

#### (1) 受賞者

甲州市立大和小学校

#### (2) 功績概要

同校は、学校林の活動において、地域ボランティアに森林についての学習会の講師や学校林の間伐・植林の事前準備や指導をしてもらい、児童も地域の方とのふれあいを楽しみながら活動を進めている。

児童たちは、林業の歴史、森林の役割、植栽や間伐など森林を整備することの意味などを学習し、自分たちの生活を取り巻く地域の森林が生活に密着していることを知ることで

自然に対する理解と地域への愛着を深めている。

(学校環境緑化の部 国土緑化推進機構理事長賞 令和5年3月)

(1)受賞者

身延町立下山小学校

(2)功績概要

同校は、PTA と共同で農園や校内の環境整備を行うほか、地域おこし協力隊やあけぼの大豆拠点施設の方の協力のもと、あけぼの大豆の栽培や歴史等の学習、加工場や販売所の見学を行っている。

シイタケの学習では、身延町森林組合の方々のご指導により、3年生で植菌、5年生で収穫を行い、稲作体験の学習では地域の方の指導と協力により、田植えと稲刈りの体験を行っている。

学校開放日に、地域の方々にも来校してもらい、総合的な学習で学んだことをまとめ発表している。

6 令和4年度緑化功労者(林野庁長官賞 令和5年2月)

(1)受賞者

望月光彦

(2)功績概要

氏は、昭和46年から苗木生産に取り組み、苗畑に腐葉土・鶏糞を混入するなど、実践で習得した生産技術に加え、他の生産者とともに改良を重ね、永年にわたり、優良な苗木生産、苗木供給を通じて、山梨県の造林事業の推進に多大な貢献を果たしている。また、県内コンテナ苗生産のトップランナーとして技術のノウハウを蓄積している。

特定非営利活動法人なんぶ里山研究会の会員として、高齢化の進む南部町において、荒廃した森林や竹林の整備、幼竹を活用したメンマ作りなどに携わり、地域の里山保全や活性化にも貢献している。

7 令和5年度さくら功労者(令和5年2月)

(1)受賞者

朝日ヶ丘班景観委員会

(2)功績概要

当該団体は、地域の観光名勝である清里・牧場通りを中心とした地域に、地域発展のために桜の植樹を行い、毎年施肥や剪定などの桜の保護、育成のほか、ゴミ拾いや草刈りなどの美化活動にも取り組んでいる。

(受賞者の氏名は敬称略で記載しています)